

ICTを活用した道路冠水防災プロジェクトの概要について

平成 29 年 11 月 28 日

1 事業の概要

国家戦略特区として革新的農業の実践に取り組んでいる新潟市では、農業の更なる効率化や農作物の収量・品質の向上を図るため、ICT（情報通信技術）を活用した実証プロジェクトを実施しています。

この実証プロジェクトで蓄積したICT技術を基に、このたび、降雨による住宅への浸水被害の軽減や、道路の安全対策の向上を図るため、ICTを活用した道路冠水防災プロジェクトを開始しました。

そのための連携協定を、11月17日に東京大学発ベンチャー企業のベジタリア（株）、市内ベンチャー企業であるウォーターセル（株）及び新潟市が締結しました。

2 各機関の主な役割

関係機関	役割
ベジタリア（株）	<ul style="list-style-type: none"> ・水位センサの提供 ・アプリケーションの開発、提供
ウォーターセル（株）	<ul style="list-style-type: none"> ・水位センサの設置、メンテナンス ・ヘルプデスクの設置、運営
新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ・設置場所の提供 ・降雨時のデータ収集

3 事業内容

(1) 開始時期

平成 29 年 11 月から

(2) 設置箇所数

4 箇所

(参考 水位センサの写真)

(3) 設置場所

- ① 新潟市西区上新栄町 3 丁目
- ② 新潟市西区五十嵐 1 の町
- ③ 新潟市西区五十嵐 2 の町
- ④ 新潟市西区木場



4 今後の予定

水位センサ設置場所の道路冠水の状況をリアルタイムで把握し、迅速に被害の最小限化につなげると共に、水位データなどを蓄積した上で改良を重ね、道路冠水の予測を行う機能も組み込んだ、降雨による被害を最小限化する全国初となる防災システムの構築を目指す。